＜様式 6-5 学校教育活動支援事業成果報告書＞

【活動の主題】　フレンドシップ・プロジェクト
【副題】　フレンドシップドール・ティナさんとともに平和について考えよう
【学校名】　草津市立　玉川小学校

１　本校の概要

本校の校区は、草津市の南に位置し、JR 南草津駅から、山手にある立命館大学の間にあります。駅前のマンションと、昔から続く土地に住む児童が混在しています。駅前の開発がすすみ、学区内は商業地や宅地がほとんどですが、地域の歴史や遺跡、史跡をしっかり残していこうとする地域の願いがあり、昔ながらのものもたくさん残っています。令和７年度の児童数は、５２８名（R8.2.1 現在）。地域との連携授業が本校の特色となっています。

２　取り組んだ内容

（1）ティナさんについて知ろう

約 100 年前、平和を祈念して米国人宣教師シドニー・ギューリック氏は日本の学校などに一万体以上の人形を贈呈しました。その意を引き継ぎ、人形を送る活動をされている孫のギューリック三世より、昨年の６年生がフレンドシップドールのティナを頂きました。

今年の６年生は、そのティナさんに込められた思いをもっと知りたいと、「アメリカから来た友情人形」の本を書かれた今関信子先生をお招きし、お話を聞くことにしました。お話を聞く前に、その本を全員が読んでおきたいということで、学校教育活動支援事業を受け、全員が手に取ることができる分の本を購入させていただきました。今関先生の、「すてきだなあと思うことは、本にしていろんな人に知ってもらいたい。」とお話いただいたことが、こどもたちにもしっかりと伝わりました。そして、こどもたちは、ティナさんのことを学校内外の人にもっと知ってもらおうという思いを強くしました。

（2）ティナさんを知ってもらおう

６年生は、広島への修学旅行に向けて平和について学びます。戦争の時、ティナさんのように友情を大事にするために贈られた人形が焼かれてしまったことなどを思い、修学旅行にティナさんを連れて行きました。ティナさんと共に、平和の子の像の前で、自分たちの平和宣言をしてきました。

また、校内のみんなにティナさんをもっと身近に感じてもらおうと、クイズを出したり、ふれあい会を持ったり、各学級を順に回ったりするティナさんリレーなどの取組をしました。学級にティナさんが回ってくることを楽しみにしていたこどもたちは、一緒に学習をしたり、給食を食べたりすることを喜んでいました。

人権集会では、ティナさんをめぐる歴史についての発表をすることで、平和に過ごすことはどういうことなのか、何が大事なのかを全校に問いかけました。

校内でティナさんについての共有がずいぶんとできてきたところで、違う学校の６年生にも伝えたいという思いが出てきました。そこで、市内近隣の小学校にも協力をしてもらい、オンラインでティナさんについての説明をすることもできました。

３　活動の成果

６年生のこどもたちは、100 年前から続く、フレンドシップドールの歴史には、多くの方の願いや思いがこもっていることを知りました。また、その思いを今も大切にしていこうとされている人々がたくさんいてくださることを知り、自分たちも平和を担う一員だという意識が芽生えてきました。平和は身近なところから、相手の思いを知ろうとするところから生まれるのだという言葉が子どもたちから聞かれました。

＜様式 6-5 学校教育活動支援事業成果報告書＞

Ａ４判　１ページ分　（1,600 文字程度）
24 字×39 行×2 段組
（横書き　MS 明朝　フォントサイズ 10.5）
＊写真や表、グラフ等を挿入してください。
＊副題はあれば記載ください。

＊この報告書は、〈本校の概要〉〈取り組んだ内容〉〈活動の成果〉の各項目の留意事項（赤文字）に従って記載してください。完成しましたら、メール添付にて弘済会滋賀支部事務局へ送信してください。
（メールアドレス　jigyo@shiga-kyoko.jp）

＊送信いただいた成果報告書は、当支部ホームページに掲載します。